



ノアの爽かぜ風



それーいただきっ!!

流し
せらゆん



二つちょうだい(*^▽^*)

美味しいね(#^_^#)



美味しい!



ふ〜! ちよつと一息ですね!



ドンドン
流しま〜すよ〜(´ー´)ノ



～目次～

- 病院短信『その人らしく』 堀江 寛子
- 看護日誌 ウィットニー 衣津子
- 作業療法科だより 栗城 このみ
- 日常の一コマ 竹田 多恵子
- 今月のナナ『マイペースな1日♥』

9月の予定

- ◆ 誕生日会 各病棟にて
 - 1病棟: 13日(水) 14:00~
 - 2病棟: 14日(木) 14:00~
 - 3病棟: 8日(金) 14:00~
- ◆ 敬老会&おやつバイキング 各病棟にて
 - 1病棟 20日・2病棟 25日・3病棟 15日



今日のナナ

ナナです(*^▽^*)
ナナのマイペースな1日をお届けします♥

ナナの動画『鳥と遊ぶ♥』はこちらから見てね〜♥

閲覧期限 1か月



朝

もう朝だよおしーこ行けよ



昼

ん?
ナナ お仕事!



わっ! どはだですか?



僕は犬や



今日も働いた!



夜

ア

日常の一コマ

今月はおさむさん（75歳）の一コマです。おさむさんは農家の5人兄弟の末っ子として徳島県で生まれました。高校卒業後、上京し建築会社に就職され、その後26歳でご結婚2人の娘さんに恵まれました。



60歳で退職後は奥さんと共に次女さん家族と同居してアルバイトなどされていました。そして、65歳頃から物忘れ・めまいなどがははじめ、脳神経外科を受診するとアルツハイマー型認知症の軽度認知障害で、物事を順序だてて行えなくなるような症状が出ていると診断されました。その後も認知症は進行し、アルバイトや趣味だった将棋の集まりにも出かけなくなり、お孫さんの送迎とテレビを見て過ごすようになりました。

69歳頃から些細なことで奥さんを怒鳴りつけたり暴れることもありデイサービスを利用するようになりましたが、途中で帰って来てしまうなど在宅介護困難となり令和2年グループホームに入居されました。しかし、そこでも職員に対して易怒・暴力が続き、病院での入院を勧められ令和4年3月、当院に入院されました。

入院当初は自立歩行で病棟内を歩き回り、食事も上手に自力で召し上がっていました。また、少し怒りっぽいところもあり、朝「おはよう」と声をかけたらファイティングポーズを取ったり、職員を怒鳴ったり、手が出ることもありました。力が強いのでこのような時は男性職員2人がかりでなければ対応できない程でした。気分の良さそうな時に声をかけたり介助を行うことで徐々に治まってきました。今では自力での食事摂取が出来なくなり、またほとんど歩くこともなくなって筋肉量が落ちたせいか、やせて少し印象は変わりましたが、キレイなお顔立ちは健在で、時々見せてくれる笑顔はステキです。ふくよかな方が好みなのか、該当するスタッフ（なぜか男性）の腕をつかんで離さないといったかわいらしい一面もあります。



おさむさんが毎日安心して過ごせるようにこれからも援助していきたいと思ひます。



1病棟 看護主任 竹田 多恵子

看護日誌

3病棟 看護師 ウィットニー 衣津子

残暑の残る9月、残暑が厳しいとはいえ、暦の上では秋です。ドライブ中・散歩中に秋を感じる花を目にすることが多くなるのではないのでしょうか？例えば彼岸花、ちょうど秋のお彼岸の時期に田舎道などでよくみかけます。中国原産の植物です。赤色でサイズもあり遠くからも映えるため、海外ではその個性的な形と艶やかな美しさが人気となり、プレゼントやアレンジメントの素材として重宝されています。また、赤色のイメージが強いですが、白や黄色もあります。次に金木犀、黄色の花をつけます。中国原産の植物です。小さな黄色の花を固まって咲かせ、街中を歩いているだけでその存在に気づくほど甘い香りを放ちます。つい足を止めて見上げてしまうほどの香りで、フレグランスやヘアケア用品など様々な商品にも使われています。最後にコスモス。1800年代にメキシコから日本に持ち込まれたとの説があります。色も赤紫・ピンク・白・黄色・オレンジなど様々な色の種類があります。中には黒紫色のチョコレートコスモスという品種があって、チョコレートの香りがするそうです。甘い香りのするコスモス、一度は香りをおかいでみたいものです。出かけた時にチョコレートコスモスを探してみるのも楽しいですね。



病院短信

2病棟 看護師長 堀江 寛子

堀江 寛子

『その人らしく…』

猛暑もようやく過ぎ去り、秋風の心地良い時節となりました。病院の中心の散歩もとても気持ち良く、患者さんと歩くのが楽しみの一つです。さて、私が2病棟の師長になってから約2か月が過ぎました。3病棟で主任をさせていただいており、3病棟しか知らない私でしたが、楽しくお話ししてくれる患者さんと明るく職場のおかげで不安もなく、毎日元気がいっぱい働かせていただいています。ただ、師長に就任して2週間経った頃、2病棟でコロナウイルスが流行し、患者さんやご家族に大変なご心配とご迷惑をおかけしました。2週間ほどで落ち着きました。が、さまざまな方に助けていただき、最小限に感染を抑えることができて感謝しています。現在も世間ではコロナウイルスに感染している方も多く出ており、対策はしっかりと行うことが大事だと感じています。



先日、ひとりの患者さんが入院されました。最初は顔がこわばり、全然話してくれません。その患者さんが見てきた事・聞いてきた事・してきた事すべてに敬意を払いどんなことをしたいのか、何をしたいのかを考えて接していくうちに、今ではたくさんお話してくれるようになりました。また、ご家族からも「穏やかになったね。イキイキしている」と。ケアに正解はなく、例えばご飯にデザートを入れて食べる方もいらつしやいます。でも「その人らしく生きてほしい」そう私は思っています。



作業療法科だより

作業療法士 栗城 このみ

毎年夏の暑さが増しているように感じますが、今年の夏は異常な暑さです。毎日うだるような暑さが続いています。少しでも涼を感じて頂こうと今年も“川越セントノア病院大流しそうめん”を行いました！まず患者様は麺つゆの入ったカップを配られます。「まだ飲まないでねー！」との声かけも哀しく、つゆを手にするやいなや“ぐーっ”と勢いよく飲み干す方がちらほらいらっしゃいました。さて、麺が流れてくるとみなさん真剣な表情でそうめんと向き合います。そうめんの他にもうどんや中華麺、そば、フルーツと種類様々に流れていきます。「おいしいね」「そば流して～」「おれはうどんがいい！」「ほらほら！いったよ！取ってー！」などとにぎやかな声が飛び交う流しそうめんとなりました。実施には様々なスタッフの協力とエネルギーがあるイベントですが、今後もみんなで協力して行っていけたらいいと思います。



大流しそうめん

